

山口和之さんの  
いきいき  
Interview vol.15  
好評連載中!  
企業探訪



日本はもっと  
強くなれる  
優しくなれる

山口 和之  
(やまぐち・かずゆき)

元衆議院議員・元参議院議員・南東北グループGM・理学療法士・介護支援専門員。30数年前、福島県立医科大学病院から南東北脳神経外科病院(現在の当院)のリハビリテーション部門立ち上げに招聘される。以後、予防・治療・リハビリテーション・地域ケアにおいて当院の発展に尽力。議員時代に東日本大震災対応をはじめ、世界に誇れる自立支援介護の推進、循環器病対策基本法の立法など医療介護福祉の政策に貢献する。



常務執行役員  
マーケティングセールス本部  
副本部長  
鈴木 伸幸氏  
(すずき のぶゆき)

(株)USEN-ALMEX  
(U-NEXT.HD)

東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア  
TEL.03-6820-1411  
<https://usen-almex.jp>



USEN-ALMEXが提供する医療機関向けシステム

山口 今回のホテルや病院などで目にする受付(チェックイン)システムや自動精算機などの製造・販売を手掛けるUSEN・ALMEXさんにお邪魔しています。まずは業務内容について鈴木伸幸常務執行役員にお聞きします。

鈴木 当社は(株)U・NEXT HOLDINGSの傘下にある事業会社の一つです。1966年に創業し、宿泊施設や医療機関、ゴルフ場、アミューズメント施設向けに様々なシ

ステムを製造・販売しているメーカーです。ホテル業界は人手不足と言われていますが、当社はセルフチェックインシステムや自動精算機を古くから提供しています。医療業界には30年ほど前から進出しており、自動精算機や受付機をはじめとした外来窓口業務の生産性を高め、人手不足解消に貢献するシステムを提供しています。現在、自動精算機は全国で約7割のシェアを誇っています。

「テクノホスピタリティを世界へ」の経営理念のもと  
ICT化やDX化の導入により人手不足問題を解消する

山口 いま力を入れているサービスや商品は何ですか。

鈴木 いちばんは医療機関での『医事DX』です。当社が今まで自動精算機や受付機を中心に外来窓口業務の省力化・効率化に取り組んできたノウハウを生かし、外来窓口業務全般の見直しを行い、病院の運用全体を整備する医事DXのコンサルティングを始めました。医療機関も人手不足が顕著ですが、医療事務派遣会社も人手不足により一部病院に業務返還するケースが出てきています。委託料は下がりますが維持が難しくなっています。そこで我々が2日間程度かけて病院内で業務調査した上で、人員配置の見直しや運用の組み換え、患者さんの動線など、その病院様にとって生産性を高める効率の良い最適解を見つけ出し提案しています。そこにICT化やDX化を注入するこ

とで「機械がやれるものは機械でやりますよ」、「どうしても人が必要なところは人がやりましょう」というコンサルティングを行っていきます。

山口 7月3日から20年ぶりに新札が発行されました。

鈴木 業態によって濃淡ありますが、医療機関の自動精算機に限って言うと、およそ7割から8割ほどが新札に対応済みとなっています。

山口 人材確保や社員教育について教えてください。



鈴木常務から「医事DX」などについて学んだ山口さん

山口 今後の夢やビジョンについてお聞かせください。

鈴木 当社の「テクノホスピタリティを世界へ」という経営理念は、最先端のテクノロジでホスピタリティをご提供していくということで、医事DXしかり、この理念のもと、皆様に満足していただけるよう努めてまいります。

山口 人手不足に悩む我々にとってUSEN・ALMEXさんの医事DXは渡りに船です。今後の活躍に期待しています。頑張ってください!

山口 働き方改革は進んでいますか。

鈴木 2017年にグループとしてはホールディングス体制となり、それで降働き方改革に注力しており、時間や場所に制約されない働き方で生産性を上げていこうということで、スーパーフレックスタイム制度やリモートワーク制度などを導入しています。

山口 今後の夢やビジョンについてお聞かせください。

鈴木 当社の「テクノホスピタリティを世界へ」という経営理念は、最先端のテクノロジでホスピタリティをご提供していくということで、医事DXしかり、この理念のもと、皆様に満足していただけるよう努めてまいります。

山口 人手不足に悩む我々にとってUSEN・ALMEXさんの医事DXは渡りに船です。今後の活躍に期待しています。頑張ってください!